

星稜 サ・エ・ラ

seiryo ça et là 2022 No. 66

inaokigakuen news letter



特集1

星稜中学校野球部
第39回全日本少年軟式野球大会

特集2

星稜高校野球部
第104回全国高等学校野球選手権大会

星稜教職員バトンメッセージ

星稜アレコレ

星稜Pick up

Amitié Seiryo ～星稜の友～

総合研究所・地域連携センターだより

全力で
今を楽しもう!

星稜サ・エ・ラに関する
アンケート実施中!

詳しくは裏表紙をご覧ください



星稜中学校野球部

皆の日々の目標達成と、
高い意識がチームをまとめました!

第39回全日本少年軟式野球大会

コロナ禍がつづく中、本気で野球に取り組んだ選手たち。
心も体も強くなっています。

1 回戦 星稜中学校 3 vs 京都東山ライダース(京都) 0
準々決勝 星稜中学校 5 vs 茨城県西選抜 2
準決勝 名古屋ドジャース 2 vs 星稜中学校 0

これまでの努力(3年 服部 航)

3月に行われた全日本少年春季軟式野球大会では2回戦で明徳義塾中に敗れ、悔しい思いをしました。そのときに力を出し切れない無念さや、一球に対する怖さを感じました。その経験から守備ではノック中に意味のある声を出して相手の進塁を防ぐこと、攻撃では常に先の塁を狙う意識を持ち全力疾走することをテーマに練習してきました。以前は何となくやっていた練習も、一つ一つに今日はこれをやろうという目標と高い意識を持ってチームとして練習できるようになりました。

今回の大会で成長したこと(3年 落合 優羽)

春からこれまでと違う努力をしてきたことや、練習試合で強豪チームという試合ができたことで自信を持って大会に入ることができました。だから、今大会は春とは違って全員が楽しみながらプレーできました。この全国大会では今まで練習でやってきた走塁や守備が生かされてよかったと思います。最後の試合も2-10で負けていましたが最後まで諦めずに戦うことができました。

これからに向けて(3年 道本 想)

全国ベスト4まで残ることができたけど、目標の全国制覇を達成できず悔しかったです。全国にはレベルの高い選手が沢山いて、もっと力をつけなければいけないと感じました。しかし、憧れていた横浜スタジアムで3試合できたことがとても嬉しかったです。またとても良い経験ができたので良かったです。今大会に出場するにあたってご支援や応援してくださった皆様ありがとうございました。もっと練習して高校でも活躍できるように頑張ります。

監督 五田 祐也

春の全国大会から比べて、チームが我慢強くなったと感じました。1回戦準々決勝共に、好投手で前半はなかなか得点することができませんでした。先発の道本くんを中心に先制するまで守りきれたことが勝利につながりました。

春の全国大会の敗戦から全力疾走を徹底し、次の塁を積極的に狙う走塁を練習してきました。

打つことに走塁をくわえることで攻撃力に幅ができ、得点パターンを増やすことができました。

ロングテール、打撃練習、ケース打撃など、振り込みとあらゆるケースに対応できる打撃を練習し、初球から積極的にバットを振っていき、カウントが追い込まれてからどれだけ投手にプレッシャーをかけていくか。練習してきたものは出せました。しかし、相手のシフトのさらに上をいく打撃力をより一層、身につけていくという課題も感じました。年々中学生の体も大きくなり、全国大会も140キロ近い投手やスタンディングする選手など、どんどんスケールアップしています。日々の練習で強い体、日々の生活で強い心をつき、さらに進化した「人間性も野球も日本一」を生徒たちと目指して頑張っていきたいと思っています。



特集2

星稜高校野球部

皆の本気と、たくさんの人の思いが甲子園の扉を開けました。
特別な舞台で仲間と戦えた高揚感、最高でした!

第104回全国高等学校野球選手権大会。
星稜高校は、3年ぶり21度目の甲子園です。
コロナ禍で甲子園出場が叶わなかった先輩の分も、
たくさんの思いを胸に秘めて、臨みました。

最高の舞台で最高の仲間と

(3年 佐々木 優太)

甲子園出場が決まった時は、本当に嬉しかったですし、本気でやってきたから感じることもできる達成感も経験することができました。道のりはとても長く大変でしたが、目標を明確にすることの大切さを学びました。

最高の舞台、最高の仲間、たくさんのお客さんがいる中で野球ができました。この経験を次のステージに生かして頑張ります。

甲子園は自分の人生を変えてくれた

(3年 永井 士航)

一番心に残っている試合は、夏の準々決勝遊学館戦です。その日は去年辞退となった7月21日、相手は同じ遊学館高校。

1点を争う厳しい展開の中、「先輩の分まで」と試合中もずっと言っていました。あの試合は、色々な人たちの思いがつまり勝ち取った勝利だと思っています。甲子園は自分にとって人生を変えてくれた場所です。

この経験を生かし、色々な分野で活躍していきたいです。

ホームランを打ってダイヤモンドを走っているときのことは忘れません

(3年 若狭 遼之助)

選抜大会が終わる、なかなか結果を残せず、苦しい期間が長く続きました。

選手だけのミーティングを増やし、もう一度みんなで目標を共有したことで夏も甲子園に出場できました。

甲子園は、緊張よりも楽しい気持ちで勝ちます。グラウンドはきれいで、ヒットや点が入った時の盛り上がり方は鳥肌が立つほどです。

コロナ禍の3年間、過ごした時間は仲間とのつながりの大切さを教えてくれました

(3年 奥 悠真(記録員))

春の選抜甲子園が終わって体制も変わり、夏のベスト8を超えるためスタートを切りました。特に4月と5月はみんなにとって辛い苦しい時間であったことを今も覚えています。それを乗り越え、迎えた夏の石川大会。決して楽な戦いではありませんでした。

思うような試合運びができず、苦しい展開もたくさんありましたが、勝負所で耐え甲子園の切符を勝ち取りました。

苦しくてもみんなで乗り越えたことは、一生の財産です

(3年 マーガード 真偉輝 キアン)

春の甲子園がベスト8で終わり、皆でベスト8の壁を乗り越えようと目標を立てました。しかし、チームの状況が春から不調、自分自身も調子が上がらず、苦しい日々が続きました。夏の大会が近づくにつれ、状態がどんどん上がっていくチーム。

色々なことを試してもうまいかな自分はいらだちもありました。それでも初戦からみんなが良い雰囲気、勝ち上がるにつれ、みんなが乗り越え甲子園の切符をつかむことができました。甲子園に出場できたことは、一生の財産になると思います。

星稜高校での2年半で学んできたことを今後の人生でも生かせるように、やっていきたいと思っています。

星稜高等学校
吉岡 拓也 教諭

授業では自作スライドを使い
視覚的に分かりやすく解説を

私は生物担当の教師として勤務2年
目で、今年度からは高校1年のクラス
の担任も務め、一部中学の理科の授業
も担当しています。

常に心がけているのは、学校生活を通
して、「どんな大人になりたいか」と
将来を想像してもらえ、指導すること
です。社会に出たときにどんなふう
に活躍したいか、そしてその達成のた
めにはどのような知識や経験が必要な
のかと、高校生のうちから考え、行動
してほしい。そうすれば社会に出たと
きに活躍できると思っています。

そんな指導をするのは、自分自身の
経験から。高校時代、野球部の顧問の
先生が将来を見据えた指導をしてくだ
さり、「自分もこんな大人になりたい」
と憧れ教師を目指しました。金沢

大学・大学院に進み教職免許
を取得し、大学4年時に
ティーチング・アシスタ
ントとして星稜に來た
ご縁をきっかけに、現
在に至ります。

授業ではただ教科書
の要点をまとめた授業
ではなく、自作スライ
ドを使い、視覚的に理
解しやすくなるよう工
夫をしています。さら
に当校はコースが複数
あるため各々に応じた
教え方をしており、ス
ポーツや実生活の場
面から

「考え、行動する」大切さを伝え、 生徒の心を導く存在に

めて解説をするなど生徒が興味を持ち
やすくなるよう授業を展開しています。
そして担任としては生徒一人ひと
りと向き合うように心がけており、朝
と夕方のホームルームしか顔を合わせ
ない日でも、しつかり表情を見て声を
かけるようにしています。

**副顧問として生徒たちの
がんばりと成長を実感でき感動**

部活では男子ソフトボール部の副
顧問を務めています。部のスローガ
ンである「異体同心」のもと同じ志を
持つ仲間との大切さを教えながら、皆
で協力しながら目標を達成して喜びを
分かち合うことの素晴らしさを伝えら
れるよう指導しています。その成果が
出たのが今年7月。中部地区の高校が
参加する中日本総合男子ソフトボ
ール選手権大会で見事初優勝を果たし
ました。努力が実を結んだことを見届
けられて大変うれしかったです。



時には自分の体験談も話すなど、
学習に「プラスアルファ」を加えるよう工夫しています。

努力の大切さは私自身、学生時代の
部活で学びました。大学時代はアメ
フト部に所属していましたが「古豪」と
呼ばれる状態で、長らく地区優勝から遠
ざかっていたものの仲間と練習に打ち
込んだ結果、大学3・4年時には地区
大会で連覇を達成し全国の舞台を経験
できました。今教え子たちが近い経験
をすることができ、感無量です。

また将来、フラッグフットボール部を
立ち上げるなどアメフトの復興に関わ
ることも1つの目標です。北陸はまだ
まだアメフトが盛んでなく、その下支
えがしたいし、アメフトという選択肢が
あることで生徒の可能性を広げる手助
けをしたい。もちろん、部活だけでな
く授業や普段の指導でも生徒一人ひと
りと向き合い、社会に出たときに「先
生の言っていたことはこういうことか」
と思いついてもらえるよう、私が憧れ
た恩師のように、「生徒の心を導く存在」
を目指して頑張っています。



生徒が結果を出してくれ喜ぶ姿に、部活動では生徒の一生懸命な姿に活力をもらえ、
有意義な教員生活を送っています。

短大 第21回流星祭開催告知!

今年も大学・短大部合同学園祭「流星祭」の季節がやってきました。今年は3年ぶりに外部からのお客さんも入場可という従来のスタイルに戻し、11月4日(金)〜6日(日)の間で開催します! テーマは「おさえるな星様」今の1年次〜3年次の学生は流星祭の本当の形を知りません。入学当初からコロナ禍でいろいろなことが制限され、大学生活を過ごしてきました。今年初めて一般参加可の大規模な学園祭ができるということで、今まで抑えてきた気持ちを存分に発揮し、学生にしか作れない最高の学園祭にしていきたいという想いからこのテーマを掲げました。

「ゲストはこの方々!」

11月5日(土)のスペシャルゲストは「大倉士門・ゆきぽよ」に決定! 屋外ステージにてトークショーや学生企画に出演します。入場は無料となっております。会場は笑いと大盛り上がりになること間違いなし! 11月6日(日)のアーティストライブは「SHISHAMO」に決定! (チケット制)

【大規模な子供向けゾーン】

子供向けの企画も盛りだくさん! 屋内にておもいっきり遊べるミニ遊園地で、学生たちと一緒に遊ぼう!

○2Fフロア

アスレチックゾーン
(エアートランポリン、フリスビー、射

的、サッカー、バスケット、ピンポン、スマー

トボール、スーパーボールすくい)

○4Fフロア

お化け屋敷ゾーン

○5F各教室

アナログゲームゾーン
(オセロ、トランプ、UNO、ナンジャモンジャ、人生ゲーム、ウボンゴ、クラッシュアイスゲーム)

【模擬店・ステージ企画案内】

模擬店ではゼミやサークルなどから唐揚げ・フランクフルト・焼きそば・スイーツなどなど、学祭屋台が約30店舗立ち並びます。
屋外ステージ企画では音楽系・ダンス系のパフォーマンズが多く登場!

○土曜日

Highway Star(ダンスサークル)

吹奏楽部

ミュージックサークル

金澤紅屋ファッションショー

○日曜日

CRASH(キボップダンス)

軽音楽部ライブ

ブライダルファッションショー

その他流星祭オリジナルステージ企画も目白押しです!

来場者にはアルコールお手拭きを渡し、こまめな感染対策も徹底して行います。
多くの皆様のご来場、心よりお待ちしております。



短大 9年ぶりのほし☆たび北海道

9月7日(水)～9月10日(土)、実に9年ぶりとなる「ほし☆たび北海道2022」を実施し、大学1～3年次42名、短大1年次3名と就活を終えた大学4年次8名の合計53名の学生が参加しました。

名古屋港から苫小牧港までは二泊三日の船上研修、最後の二泊二日は札幌市内の研修施設で、自己分析やグループディスカッション、4年次の就活体験談などから各自が学びを得ました。最終日の解散場所は札幌駅。それぞれが自分で復路の手段やスケジュールを計画し思い思いの帰路につきました。ほし☆たびで学んだ内容は就職活動だけではなく、今後の人生にも生かされるような深いものになったことと思います。



短大 オープンキャンパス 星陵LIVE2022、開催!

大学・短大部のオープンキャンパス、星陵LIVEを開催しました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、学部ごとに人数制限を設けておりましたが、早々に定員に達し、急遽参加枠を追加、実施場所を大講義室に変更するなど、感染症対策をとりながら全日程を対面で実施し、昨年を超える多くの方にご参加いただきました。

各会場では学生企画をはじめ、学部学科説明や模擬授業、キャンパスツアーなど様々なプログラムを実施。個別相談や学生とのトークスペースでは参加者からの質問や相談に応じ、WEBサイトや冊子では伝えられない、本学の雰囲気や様子を感じていただきました。

参加者からは「オープンキャンパスに参加して、より一層金沢星稜大学に入りたいと思いました!」「学生さんが本当にキラキラしていて真面目かつ楽しそうにされていたのが印象的で、うちの娘も是非この環境で勉強させたいと思います。(保護者)」などの声も寄せられ、本学の魅力をお届けする良い機会となりました。



短大 Sei-Tan Act! 能登の魅力再発見!

9月12日(月)・6月13日(火)、Sei-Tan Act! 能登の魅力再発見アクトを実施し、短大生15名が参加しました。コロナ禍でも地元住民や観光客を魅了し続けているのとじま水族館、能登島ガラス美術館、宿泊旅館のと楽を巡り、その魅力を短大生の目線で記録。各館の方々にインタビューも実施し、コロナ禍で直面した課題や新たに始めた取り組みなど様々な話を伺いました。参加した学生たちからは「友人同士でなかなか能登へ行く機会がなかったので楽しく活動できました。1、2年次で交流もできて良かったです!」「水族館と美術館には思わず写真が撮りたくなるような展示やイベントがたくさんあり、来場者を笑顔にする工夫が凝らされていると改めて感じました。インタビューで貴重なお話を聞くことができ良い経験になりました」との声が聞かれました。



★ 高 第2回土曜特別講座 "GSP"を実施しました。

6月18日(土)に、土曜特別講座"GSP"を実施しました。今回は43講座を開講し、1年生から3年生まで、のべ1,459名の生徒が参加しました。一貫理数サイエンス実験講座では、星稜高校近辺の川と蓮根畑の水質との関連について探究している生徒2名が、御所町生産組合長の東川さん所有の蓮根畑を訪れました。土づくりの過程や、畑の管理について貴重なお話を伺い、蓮根畑の水を採取させて頂きました。



★ 高 3年生 短冊に願いを込めました

6月29日(水)、進路指導課が3階エレベーターホールに素敵な竹を用意しました。3年生は7月7日の七夕にむけ、自分の夢・目標を再確認し、「素直な自分の気持ち(願い)」を込め、短冊をかけました。学業成就是もちろんのことですが、家族や仲間の健康を願ひ、「受験は一人ではなくみんなで頑張ること、多くの人の支えがあるから勝負ができること」を再確認した日になりました。



★ 高 夏の学校見学会を 開催しました。

8月2日(火)・3日(水)、夏の学校見学会を開催しました。2日間で1,200名の生徒・親子が参加されました。「自分の未来を体験する」というテーマのもと、好奇心溢れる笑顔で説明を聞いている姿が印象的でした。また校舎内はもちろん部活動・エンパワーメントプログラムを見学したことによって、星稜高校への親近感が湧いたのではないのでしょうか。中学生の皆さんの受験が良いものになることを心より願っております。



★ 高 1・2年生 京都・大阪の大学見学会に行ってきました。

8月9日(火)・10日(水)、高校1年生Aコース88名とBコース、高校2年生Aコース希望者44名で京都・大阪の大学見学会に行ってきました。1日目は駿台予備学校京都校にて共通テストに関する情報や心構えについてお話を伺い、宿泊先では難関大学に合格した卒業生と座談会をしました。2日目は大阪大学核物理研究センターを見学し、京都大学では模擬講義を受講しました。大変貴重な、充実した2日間となりました。



★ 高 第61回星稜祭 大盛況の2日間が終了

9月8日(木)・9日(金)、第61回星稜祭を行いました。コロナ禍を経て3年ぶりの本格的な開催です。入場ゲート制作、ステージ発表、クラスステナントといった学年ごとの取り組みでは、クラスの絆が強まりました。また、実行委員が企画した多彩なイベント、稲置記念館でのペリーグッドマン、SPAREBBSのライブなどでも大いに盛り上がり、色とりどりのクラスTシャツに身を包んだ生徒たちの笑顔があふれる2日間は大盛況のうちに幕を下ろしました。



★ 高 部活動体験を実施しました。

8月27日(土)、野球、サッカー(男女)、バレーボール(女子)、剣道(男女)、ソフトボール(男女)、空手道(男女)、バドミントン(男女)を対象に部活動体験を実施し、151名の中学生が参加しました。参加した中学生の話聞いてみると、「憧れの星稜高校で練習ができて幸せだった」「中学時代の先輩とまた一緒にプレーができて嬉しかった」など人との繋がりの大切さを再認識できた素晴らしい機会となりました。



★ 高 「星稜夏フェス」 文化部活動発表会を実施しました。

9月10日(土)、稲置学園90周年記念事業の一環として「星稜夏フェス」と題し、本校文化部の活動発表会を行いました。2021年度全国大会に出場した演劇部、箏曲部をはじめ、吹奏楽部、合唱部、チアリーダー部が稲置講堂ステージでの発表に出演しました。また、茶道部によるお茶会にて、学園関係者、保護者の皆様をもてなすとともに、華道部、美術部、天文部が稲置記念館5階ロビーに作品を展示し彩を添えました。



★ 3年生

中能教室に行ってきました！

7月5日(火)、石川県立能楽堂で行われた第73回観能教室に3年生が参加しました。開演前の能楽についての質問コーナーでは生徒を代表して戸田慶星くんが能面や足運びに関する質問をし、その後、狂言「附子」能「羽衣」を鑑賞しました。事前学習で能楽について、生懸命学んだ生徒は「表情や動作、音楽などが特徴的でとても面白かった」と、金沢となじみ深い伝統文化に触れる貴重な時間を過ごすことができました。



★ 3年生

エンパワーメントプログラムに参加しました！

8月1日(月)～8月5日(金)の5日間、高校1年Aコースの先輩たちと共にプログラムの参加しました。外国人留学生と交流しながら、英語でのグループ討論やプレゼンテーションを行いました。難しいテーマについての討論にも積極的に挑戦し、意見を堂々と発信する自信と他者と協働して問題を解決する姿勢が身につきました。



★ 1年生

イングリッシュキャンプを行いました！

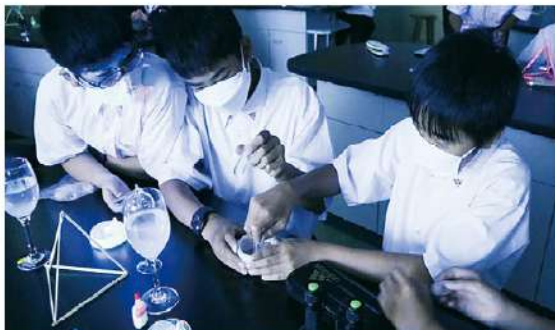
9月7日(水)より、外国人講師を招いてオールイングリッシュで3日間を過ごすイングリッシュキャンプを行いました。初日はセツシオンを通じたコミュニケーション能力の養成を中心としたプログラムを行い、2日目はひがし茶屋街へ行き、講師の方々と生徒が考案したルートでご案内しました。最終日には「金沢を紹介する」をテーマに、発表会を行いました。修了式後に生徒は「どんどん英語のやり取りをしていきたい」「や「英語を身近に感じる事ができた」等話しており、彼らの主体性や国際性が磨かれた大変貴重な時間を過ごすことができました。



★ 1年生

学内研修を行いました！

7月22日(金)、サイエンスプログラムの一環として講師をお招きして、科学の楽しさや素晴らしさに触れることを目的とした講義を行いました。本校職員による「紙飛行機でさぐる力学の世界」、高田 隆二氏による「マジックで広がる笑顔の輪」、四ヶ浦 弘氏による「実験で楽しむ宮沢賢治・銀河鉄道の夜」と、多種多様な講義を受けた生徒は笑顔で二期の学校生活を締めくくることができました。



★ 2年生

イワナつかみ体験に行ってきました！

9月7日(水)、2年生は里山自然学校大杉みどりの里にてイワナつかみ体験を行いました。初経験の生徒が多く、戸惑う様子も見られましたが、職員の方々の説明をよく聞いて取り組んでいました。自分で捕まえてさばいたイワナのおいしさは格別で、命をいただくことを実感できる素晴らしい体験となりました。



★ 3年生

修学旅行に行ってきました！

9月7日(水)から9日(金)の3日間、広島・関西方面へ修学旅行に行ってきました。1日目は宮島の厳島神社で参拝後、班別による宮島散策を行いました。その後、原爆ドームと広島平和記念資料館に行き、学校の授業だけでは学ぶことのできない戦争の恐ろしさや平和の大切さを考えることができました。2日目は神戸北野異人館、人と未来防災センター、ユニバーサルスタジオジャパンに、最終日はミズノ・鳥津製作所・バナソニックライティングデバイス等に見学に行き、思い出と学びを級友と共有することのできる素晴らしい機会になりました。



中高 6月からの主な部活動成績

【星稜高等学校】

北信越高等学校体育大会第61回北信越高等学校陸上競技対校選手権大会

- 男子100m ・第5位 奥野 楓馬
- 男子200m ・第6位 奥野 楓馬
- 男子5000mW ・第3位 櫻井 建太
- 男子5000mW ・第8位 増田 悠希
- 男子八種競技 ・第7位 奈良本 圭亮
- 男子走幅跳 ・第1位 門田 吉平
- 女子100m ・第8位 明正 佑奈
- 女子100mH ・第3位 小早川 心暖
- 女子4×100mR ・第2位 小早川 心暖、俵 光歩
吉尾 彩、明正 佑奈
- 女子4×400mR ・第7位 寺田 千夏、酢谷 羽瑠菜
中嶋 雪音、明正 佑奈
- 女子走幅跳 ・第6位 村中 麗
- 女子棒高跳 ・第2位 清水 琴美
- 女子砲丸投 ・第8位 高野 紗弥
- 女子円盤投 ・第3位 熊野 遥空
- 女子総合 ・第3位
- 女子フィールド ・第3位

北信越高等学校体育大会第52回北信越高等学校弓道大会

- 団体女子 ・第2位 若林 あすか、佐々木 結依
今高 菜々子、桑原 心結
物部 彩葉、宮川 夏歩、金山 日菜和

北信越高等学校体育大会第60回北信越高等学校ソフトボール大会

・第3位

北信越高等学校体育大会第60回北信越高等学校女子ソフトボール大会

・第3位

北信越高等学校体育大会第69回北信越高等学校ボクシング選手権大会

- 男子の部Aパートバンタム級・第2位 田上 獅道

第35回全国高等学校将棋竜王戦石川県大会

- A級 ・準優勝 和田 健
- B級 ・準優勝 種田 誠士

第55回北信越高等学校選手権水泳競技大会

- 女子高飛込 ・第2位 浜坂 萌音
- 女子飛板飛込 ・第5位 浜坂 萌音
- 女子100m背泳ぎ ・第6位 中野 りふか
- 女子400m個人メドレー ・第7位 中野 りふか
- 飛込総合女子 ・第2位

北信越ジュニアオリンピック飛込競技大会

- 16～18歳女子高飛込 ・第2位 浜坂 萌音
- 16～18歳女子3m飛板飛込 ・第3位 浜坂 萌音

第70回石川県吹奏楽コンクール

- フリー部門 ・優秀賞
- 高等学校A部門 ・金賞

第77回国民体育大会陸上競技石川県予選会

- 男子少年A100m ・第2位 奥野 楓馬
- 男子少年Aやり投 ・第3位 蔦村 翼
- 男子少年A走幅跳 ・第1位 高澤 和真
- 男子少年A走幅跳 ・第3位 門田 吉平
- 男子少年B100m ・第2位 奈良本 圭亮
- 男子少年B110mH ・第1位 奈良本 圭亮
- 男子少年共通800m ・第1位 坂本 一真
- 男子少年共通800m ・第3位 濱野 拓弥
- 男子少年共通5000mW ・第1位 櫻井 建太
- 女子少年A100m ・第1位 吉尾 彩
- 女子少年A100m ・第2位 明正 佑奈
- 女子少年A100mH ・第2位 小早川 心暖
- 女子少年A300m ・第2位 明正 佑奈
- 女子少年A300mH ・第1位 中嶋 雪音
- 女子少年A800m ・第3位 滝本 果南
- 女子少年共通走幅跳 ・第1位 吉尾 彩
- 女子少年共通三段跳 ・第2位 安田 心
- 女子少年A砲丸投 ・第1位 熊野 遥空
- 女子少年A砲丸投 ・第3位 高野 紗弥
- 女子成年棒高跳 ・第1位 清水 琴美
- 女子成年棒高跳 ・第2位 中江 那佑
- 女子成年棒高跳 ・第3位 森田 梨理香

第104回全国高等学校野球選手権石川大会

- ・優勝

第66回中日本総合男子ソフトボール選手権大会

- 高校男子の部 ・優勝

第66回中日本総合女子ソフトボール選手権大会

・第3位

第46回全国高等学校総合文化祭

- 小倉百人一首かるた部門競技の部 ・ベスト8(奨励賞) 堀 陽太、伊藤 暖

令和4年度全国高等学校総合体育大会陸上競技

- 男子5000mW ・第7位 櫻井 建太
- 女子走幅跳 ・第6位 吉尾 彩

第47回全国高等学校トランポリン競技選手権大会

個人競技

- 男子の部 ・優勝 美田 靖文
- 女子の部 ・優勝 木村 心春
- 女子の部 ・第2位 澤田 守杏
- 女子の部 ・第6位 吉村 紅子

シンクロ競技

- 男子の部 ・優勝 美田 靖文、都竹 奏翔
- 女子の部 ・優勝 木村 心春、澤田 守杏
- 女子の部 ・第3位 吉村 紅子、大藤 彩

団体競技

- 男子の部 ・優勝 美田 靖文、都竹 奏翔
中山 偉斗、赤石 泰雅
- 女子の部 ・優勝 木村 心春、澤田 守杏
吉村 紅子、大藤 彩

最高跳躍点賞

- 男子 美田 靖文
- 女子 澤田 守杏

最高演技点賞

- 男子 都竹 奏翔

最高難度点賞

- 女子 木村 心春

第42回石川県高等学校総合文化祭

第74回石川県高等学校演劇合同発表会

・最優秀賞

第19回石川県ジュニアゴルフ選手権

- 女子15歳～17歳の部 ・優勝 東 凛夏
- 女子15歳～17歳の部 ・第3位 川崎 美鈴

令和4年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会

- 女子シンクロナイズド3m飛込競技・第3位 北信越①チーム 浜坂 萌音

第64回石川県合唱コンクール

- 高等学校部門Aグループ ・銀賞

第30回石川県高等学校声楽コンクール

- ・優良賞 北村 和花
- ・優良賞 宮下 紗依

第66回段別剣道選手権大会

- 初段の部 ・第3位 山本 侑果
- 二段の部 ・第3位 山名田 創士
- 二段の部 ・第3位 細川 颯太

第66回北陸陸上競技選手権大会

- 男子1500m ・第1位 坂本 一真
- 男子5000m ・第3位 定塚 利心
- 男子5000mW ・第1位 櫻井 建太
- 女子4×100mR ・第3位 小早川 心暖、俵 光歩
吉尾 彩、明正 佑奈
- 女子砲丸投 ・第2位 熊野 遥空
- 女子棒高跳 ・第3位 清水 琴美

第89回NHK全国学校音楽コンクール石川県コンクール

- 高等学校の部 ・銀賞

【星稜中学校】

加賀地区中学校体育大会剣道競技

- 男子団体 ・第1位

加賀地区中学校体育大会軟式野球競技

・第1位

加賀地区中学校体育大会兼県体予選会(北加賀ブロック)サッカー競技

・第1位

石川県中学校体育大会第74回陸上競技大会

- 共通男子3000m競歩 ・第1位 喜多 翼
- 共通女子3000m競歩 ・第2位 五所村 アコ

第39回全日本少年軟式野球大会北信越ブロック予選会

・優勝

第68回全日本中学校通信陸上競技大会

- 女子共通200m ・第1位 若松 愛奈

第60回石川県中学校サッカー大会

・第1位

第31回石川県中学校競歩大会

- 男子共通3000m競歩 ・第1位 喜多 翼
- 女子共通3000m競歩 ・第1位 五所村 アコ

第43回北信越中学校総合競技大会

- 女子共通200m ・第6位 若松 愛奈

第28回北陸ジュニアゴルフ選手権

- 中学生男子 ・第3位 宮坂 知宙

第39回全日本少年軟式野球大会

・第3位



☆幼大連携で金銭教育☆

年長児が金沢星稜大学の学生による『金銭教育』に参加しました。学生がお金についての劇を披露し、その後、1人・100円のおもちゃのお金を持ち、「ドーナツ」「おにぎり」「アイスクリーム」の3つのお店で買い物体験をしました。買い物体験では自分で好きなものを選び、お金のやり取りを楽しんだ子どもたち。買い物の後にはお土産をもらい、うれしそうな笑顔がたくさん見られました。



☆お誕生日おめでとう☆

今年度は子どもたち一人ひとりの誕生日当日に保護者の方に来園していただき、保育参観や給食試食、お誕生日のお祝いをしています。



☆お楽しみ夏祭り☆

年長児がお楽しみ会で『夏祭り縁日』『綱引き大会』に参加しました。金銭教育ではおもちゃのお金のやり取りを経験した子どもたち。今回の縁日では、実際に木物のお金を使って、お店をまわり、駄菓子屋の買い物や、光るライト、ヨーヨー、輪投げや金魚すくいなどのゲームを楽しみました。綱引き大会では友達と協力し、力を合わせて勝った喜びを感じたり、負けて悔し涙を流すなど、友達との大切なつながりを感じることが出来る貴重な体験になりました。



園児 幼稚園
★自然っておもしろい★

7月13日(水)、石川県の事業である里山体験に年長児が参加し、夕日寺健民自然園に行ってきました。前日までにチーム作りや活動に必要なものを考えながら準備を進めました。当日は、インストラクターと一緒にチームごとに探検へ行きました。みずあそびチームは「長靴に水が入るくらい深くてもへっちゃらだった!」むしチームは「オニヤンマがヤゴから成虫に羽化したところを見た!」あかチームは「ザリガニ釣れるかな!」とジーンと待ってみたけどなかなかつれなかった」等々、幼稚園に帰ってから楽しかったことや見つけたことをたくさん伝え合いました。それぞれ興味を持った活動をチームですることや、やってみたい!という意欲を持つて参加できたようです。普段はなかなか触れることの少ない自然を、全身を使って満喫しました。



★チアリーディング
応援に行つたよ★

星稜泉野幼稚園のチアガールたちが、高校野球石川県大会決勝戦の応援に行ってきました!ユニフォームは星稜高校チアリーダー部のお姉さんとおそろい!です。周りの方々や高校生のお兄さん・お姉さんから「かわいい!」とどよめき此起彼伏で、自分たちがヒーロー気分のようにでした。園では「カーンって音(ボールを打った音)が聞こえた!」お姉さんたちの応援が上手だった」と友だちに報告していました。また来年もぜひ応援に行きたいので野球部のお兄さんたち、チアリーダー部のお姉さんたち、頑張ってください!



★稲置学園90歳のお誕生日おめでとう!★

年長児では90周年をどんな風にお祝いしようかなと話し合い、子どもたちの手作り品を売るお店を出店することにしました。稲置学園に関わる人たちが楽しい気持ちになったらいよいよね、とお客さんが喜んでくれるのを想像しながら商品を作りました。また、日頃からリサイクルマークを集めていたことや、さらに、金沢市ごみ減量推進課の方からごみの分別について話を聞く機会もあり、それをきっかけにペットボトルや牛乳パックなどの廃材を使ったアクセサリー等を作りました。

また、年中児は表現遊びに向けて、自分たちのTシャツを絞り染めました。



★園舎がきれいに
なりました★

8月に外壁工事と床の張り替え工事が完成しました。明るい雰囲気になった園舎で2学期をスタートしました!





心地よい気候の中、子どもたちは運動意欲が盛んになってきました。ことり組は、走る、跳ぶなどの全身運動を友達といっしょに存分に味わっています。9月には、星稜幼稚園のいちご組と合同で「おやこ運動遊びの会」に参加したことも良い経験となりました。どの子ども運動能力が日々発達しているのを感じます。

ひな・ひよこ組の子どもたちは、マットで転がったりトンネルをくぐったりアルピニオをのぼったりしながら、体を動かして遊んでいます。音楽に合わせて踊っているうちに自然と手をつなぎ笑顔を見せる様子からは、信頼関係が生まれているのが伝わります。

季節が変わり、一人ひとりの心と体の成長をうれしく感じています。



星 稜 Pick up

寮生の癒やしに!

画家・角谷 やすひとさんがGROW DORM訪問

2021年4月にオープンした、星稜中学校・高等学校 総合寮「GROW DORM」。そのエントランスロビーや食堂などに飾られる、かわいらしい妖精が印象的な絵。その作者の角谷 やすひとさんが来訪されました。

稲置理事長に聞く、角谷さんの絵の魅力とは

コロナ禍で入居の生徒も帰省しづらくなる中、カウンセリングルームに角谷さんの妖精の絵を置いたところ、「癒される!」と大好評で、多数展示しました。さらにGROW DORMが生徒の第二の自分の居場所になるように角谷先生に描いていただきました。おかげでGROW DORMのシンボルとして玄関に飾り、帰って来たときに「おかえり!」と言ってくれます。



5月から飾られた「GROW DORM」は、作中に寮の名前が描かれています。

角谷さんインタビュー

「好き」をつきつめること。
それが個性にもつながります。



妖精は画家初期からのモチーフ

もともと私はデザイナーとして働いており、絵も好きだったのでよく描いていました。「妖精」というのは画家として活動する初期からのモチーフで、今回生徒たちの癒やしになっていると伺い、大変うれしく思います。

ほかのテーマにも取り組んでいて、F1がとても人気があった1990年ごろには、アイルトン・セナの大ファンだったのでF1の絵もよく描いており、画廊で飾っていたら仕事にもつながり、「マッチ」こと近藤真彦さんがレーシングチームを立ち上げるときに毎年のカラーリングのデザインを担当し、今も続いています。

その後、坂本龍馬のミュージカルを鑑賞したのをきっかけとして坂本龍馬に夢中になり、その絵を描くように。そちらも紹介などから仕事につながり、いろいろなご縁のおかげで画家として生計を立てられ、今ではほぼ画家一本を仕事にしています。

観た方々の暮らしを彩るのがうれしい

今画家という仕事ができ、とても幸せです。絵を描いているときは制作自体が楽しいですし、その気分が絵に伝わるのがおもしろいですね。そしてその作品がご購入者の暮らしを彩るのがうれしく、ここGROW DORMでも生徒の皆さんの癒やしになっていると伺い、仕事の励みになりました。

若い人へ送りたいアドバイスは、「好きなものをつきつめる」ことが大切です。私の場合は、妖精、F1、そして坂本龍馬と興味が次々と移っていきましたが、好きなものにこだわるのが、クリエイターとしての個性につながりました。今はもう61歳ですが「好き」をつきつめた結果、仕事楽しく体が動く限りは現役でいたいと思っています。そんな仕事に巡り会えたのは、本当に幸せなことです。



食堂にも展示され、生徒の癒やしとなっています。

石川県で最年少の税理士が誕生しました！

高校から大学院まで本学で学び、見事に目標を達成した西田 匠吾さんにインタビューしました。



西田 匠吾さん

税理士法人 北陸合同会計事務所勤務 税理士

【学びの履歴】

2014年3月 星稜高等学校卒業
2018年3月 金沢星稜大学 経済学部経営学科卒業
2020年3月 金沢星稜大学大学院 経営戦略研究科修了

【資格取得・税理士登録の履歴】

2014年4月 CDP税理士コース(現 会計コース)で初級コースから簿記学習を開始
2015年2月 日商簿記検定2級合格
2017年8月 税理士簿記論、財務諸表論科目合格
2019年8月 税理士消費税法科目合格
2020年6月 修士論文審査に合格し免除通知を受ける(5科目合格を達成)
2022年7月 実務経験2年を経て、税理士の登録

※大学・大学院の在学中に会計2科目、税法1科目の合計3科目の合格を達成

※石川県の北陸税理士会所属の税理士としては最年少での登録

Q1. 税理士を目指したきっかけは？

母親が税理士事務所に勤めていた影響で小さな頃から税理士という職業に興味がありました。星稜高校に入って進路を決める際に色々調べて、企業を支える重要な仕事だと思いました。そのような責任ある仕事に魅力を感じて、CDP税理士コース(現 会計コース)のある金沢星稜大学に入学を決めました。

Q2. 現在の仕事内容について教えてください

基本的には、毎月お客様の元に出向き、帳票類を確認しその月の会計を締めて経営者の方に報告する、という巡回監査を行います。中には記帳代行といって資料を預かってこちらで入力しお客様にお持ちすることもあります。お客様のほとんどが中小企業で、経営者の方々と話すことが多く、新しい発見や今まで知らなかった角度でモノを見る感覚を養えるのは、税理士の醍醐味の一つかもしれません。

Q3. 税理士の仕事の魅力を教えてください

やはりお客様あっての仕事なので、身近な存在として頼りにされていることを日々実感しています。経営者の方々は、日頃の悩みを従業員に相談するわけにもいかず、そんな中で毎月訪ねてくる税理士の私に相談をしてくださるのは嬉しい限りです。そのために大事なことはコミュニケーション。日々心がけているのは専門用語をあまり使わず、わかりやすい言葉を使うようにしています。これからも身近に相談できる存在としてお客様との信頼関係を築いていきたいです。



Q4. 税理士の受験勉強について振り返ってください

基本は個別問題を毎日欠かさず練習することでした。特に直前期は本試験の時間に合わせて本試験の時間を意識することが重要です。また、自宅から大学まで1時間ほどかかるため、その時間を使って理論暗記や音読などを繰り返し、音読は自分の声を録音して繰り返し聞くよう工夫しました。模試の点数が伸び悩んだ時は心が折れそうになりましたが、自分が税理士になった姿を想像し「絶対税理士になる」と自分に言い聞かせ、何とか乗り越えられました。友人と遊ぶ時間やクラブ活動など我慢や犠牲にしたこともありますが、受験学習から得た経験も自分の成長には欠かせないことだったと今では思います。

Q5. 大学院ではどのようなことを学んでいましたか？

大学院の授業で印象に残っているのは「租税判例研究」です。判例からいろんな研究を進め、「まずは条文を引いて調べる」といった姿勢が身につく、現在の実務でも条文ベースで根拠を調べるといった点で生かされていると感じます。学部と違って、各自が調べてきたテーマについて発表して、全員で討論します。少人数なのでじっくりとディスカッションができ、自分の研究内容を深めることができます。

Q6. CDPを受講して良かった点を教えてください

税理士試験の勉強は孤独との戦いです。時間内で解答できる問題を探すため、ひたすら反復練習しかありません。そんな中で一緒に勉強する仲間がいたことは大きく、同じ目標に向かって頑張っている仲間の存在に何度も助けられました。また、問題の解き方を先生や経験者の話を素直に聞き、自分に合ったもの、良いものを取り入れていく姿勢を学ぶこともできました。個別学習相談の機会もあり、自分の学習計画の修正してもらえ、学習サイクルが定着しやすくなるメリットもありました。

Q7. これから税理士を目指す方へのメッセージをお願いします

大学1年生で初めて簿記を学んで間もない頃、簿記3級の授業で講師の先生が仰っていた「一つの道を決めたのなら犠牲にしなきゃいけないものもある」という言葉が今でも心に残っています。犠牲にしたことは確かにたくさんありますが、そこに全く悔いはありません。後輩の皆さんには明確な「目標」を持ち、税理士になるという強い意志を持って挑戦してください。その目標を叶えるまで、自分の信念はブレずに頑張ってください。



北國銀行で活躍する 「星稜」の卒業生



株式会社CCイノベーション
コンサルタント
岡本 麻衣
(星稜高等学校 第46期卒)

お客様に寄り添い、業務を通じて 地域の発展の一助となる。

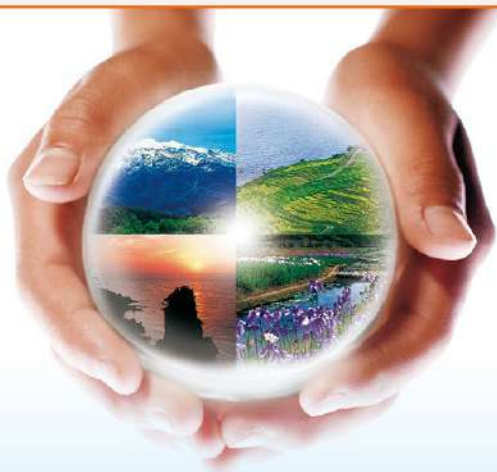
私は平成22年に星稜高校を卒業後、平成26年に北國銀行に入行し、金沢市や小松市の店舗で法人営業を担当してきました。入行から9年目となる現在は、北國フィナンシャルホールディングス内のCCイノベーションに所属し、コンサルティング業務を担当しています。

当社グループでは、スローガンとして「Quality Company, Good Company」ともに、「未来へ」を掲げています。サービスの質を第一に考え、人々の生活をより良いものとし、より良い社会にするために、地域のより良い未来に向かって皆様と伴走して

いくという意味です。当部署に置き換えると、お客様に寄り添ってコンサルティングを実施し、各企業の経営力が向上することが地域の発展にもつながるのだと理解しています。コンサルティングを通じ実際に様々な企業の経営改善に関与することは、難しくもありますが非常にやりがいを感じています。当部署に配属されて間もなく至らない点も多いのが実情ですが、生まれ育った石川県の発展に寄与すべく日々業務に励んでいます。

高校時代はBコースに所属し、部活動や勉強等それぞれの目標に向かって努力する多くの友人と出会うことができました。星稜高校には自分のやりたいことに打ち込める環境が整っており、先生方の手厚いサポートも受けられます。私自身、勉強嫌いで成績も決して良くなかったですが、先生方に熱心にご指導いただいたおかげで無事に大学へ進学できました。分からない箇所を職員室に質問しに行くと、放課後でも時間を割いてご指導下さったことが今でも記憶に残っています。

コロナ禍ではございますが、学生の皆様の高校生活が実り多いものとなるよう願っております。最後に、星稜高校関係者の皆様の益々のご活躍とご健勝を祈念いたしまして、結びのご挨拶とさせていただきます。



一緒に守りたい、今日があります。
ともに創りたい、未来があります。

ふるさとの今日を、明日につないでいく。
地域のみなさと、未来をひらいていく。
ふるさとに暮らす人々が、
今日も、明日も笑顔で過ごすことができるように。
北國銀行は、これまでこれからも
地域とともに歩む銀行であり続けます。

総合研究所・ 地域連携センター だより



地域連携センター

SDGs未来都市白山市の SDGsプロモーション活動

「松任駅、道の駅めぐみ白山をゲートウェイにして」
「地域連携による地域貢献活動」推進事業（新ゼミナール）

本学では、白山市との包括連携協定に基づいて、白山市のSDGsプロモーション活動を7つのゼミナールが連携して取り組んでいます。そのうち新ゼミナールでは、松任駅と道の駅めぐみ白山をゲートウェイとして観光客を「白山手取川ジオパーク」の国際認証を目指している白山麓に誘導するプロジェクトを進めています。

松任駅グループでは、千代女の里俳句館や松任中川・政記念美術館など松任駅周辺の優れた文化施設の紹介及び白山との関連性をアピールする動画を作成し、SNSでの情報発信に取り組んでいます。また、道の駅グループでは、学生が物販コーナーの商品をSDGsで評価し、POPを作成し、商品の横に掲示して来店者に「SDGs商品」としてアピールするとともに白山麓の特産品の生産者の紹介動画を作成し、SNSでの情報発信に取り組んでいます。



地域連携センター

南砺市桜ヶ池エリアにおける プレイスメイキング

「地域連携による地域貢献活動」推進事業（石川ゼミナール）

昨年度に引き続き、富山県南砺市にある複合公共施設「南砺市クリエイタープラザ（桜ヶ池）」の賑わい創出と認知度向上に取り組んでいます。プレイスメイキングは直訳すると「場づくり」という意味で、石川ゼミナールでは人びとが心地よくいられる場づくりを活動目標としています。今年度はファミリー層が楽しめる時間と場所を創造するために、立案から進行管理、出店交渉、収支計算、当日の運営までその多くを学生が行いました。8月20・21日に開催したイベント（なんと）には、地元南砺市をはじめ金沢市や富山市等からお越しいただきました。またサードエリアに隣接した施設という特性上、北陸三県以外にお住まいの家族連れの姿もありました。今後の課題は、現場での活動頻度を増やすという点と、主に都市部が対象とされているプレイスメイキングの手法を中山間地域で展開するための検討という点です。今後も、研究・実践を通じて地域に貢献していきます。



地域連携センター

2022年度 「地域連携による地域貢献活動」推進事業 採択事業のご紹介

本事業は、地域フィールドを舞台とした教育研究活動を通して、課題解決能力と地域の活力となる新たな知を生み出す力を持った人材を育成することを目的としています。また、地域の課題やニーズを確認しつつ、関係団体と連携して地域の活性化に寄与する活動を推進する事業を実施しています。今年度は審査の結果6事業が採択され、6月より活動を開始しております。今後の活動にもぜひご注目ください。

2022年度採択事業一覧

- 代表者：西村 貴之 教授（人間科学部）
・Future Challenge Project 2022
（プロスポーツ発！誰もが共に暮らし続けられるまちづくりを目指し挑戦する活動）
- 代表者：新 広昭 教授（経済学部）
・SDGs未来都市白山市のSDGsプロモーション活動
—白山・手取川ジオパーク国際認証後のSDGs観光を視野に—
- 代表者：石川 美澄 准教授（経済学部）
・南砺市桜ヶ池エリアにおけるプレイスメイキング
- 代表者：前田 昌寛 准教授（人文学部）
・小学校英語教育実践プロジェクト（志賀町）
- 代表者：清水 和久 教授（人間科学部）
・羽咋地区における国際交流支援、ICT活用支援
- 代表者：三好 伸子 教授（人間科学部）
・茅葺き文化に関する絵本づくり

行事スケジュール (10月～12月)

※変更する場合があります。

金沢星稜大学

10	5日(水)	学園創立記念日
	8日(土)・29日(土)	補講日
	10日(月・祝)	通常講義日(スポーツの日)
11	4日(金)～6日(日)	第21回流星祭
	12日(土)	補講日
	19日(土)	学校推薦型選抜・総合型選抜
12	22日(火)・24日(木)	クォーター間調整日
	25日(金)	4Q授業開始
	3日(土)	総合型選抜
	10日(土)・24日(土)	補講日
	15日(木)	卒業研究発表会
	26日(月)～31日(土)	年末年始休暇

金沢星稜大学女子短期大学部

10	5日(水)	学園創立記念日
	8日(土)・29日(土)	補講日
	10日(月・祝)	通常講義日(スポーツの日)
11	4日(金)～6日(日)	第21回流星祭
	12日(土)	補講日
	19日(土)	学校推薦型選抜・総合型選抜
12	3日(土)	総合型選抜
	10日(土)・24日(土)	補講日
	26日(月)～31日(土)	年末年始休暇

星稜高等学校

10	1日(土)	学校説明会
	5日(水)	学園創立記念日
	8日(土)	学校説明会
	11日(火)～14日(金)	中間試験
	22日(土)	2年保護者対象説明会
11	26日(水)	1年進路研究、2年文化教室、3年秋の遠足
	1日(火)・2日(水)・4日(金)	教育ウィーク(授業公開)
12	28日(月)～12月1日(木)	2年期末試験
	2日(金)・5日(月)～7日(水)	1・3年期末試験
	4日(日)～6日(火)	2年修学旅行
	20日(火)・21日(水)	1・2年体育大会
	21日(水)	終業式
	22日(木)・23日(金)・26日(月)	保護者懇談会

星稜中学校

10	5日(水)	学園創立記念日
	13日(木)・14日(金)	中間試験
11	1日(火)・2日(水)・4日(金)	教育ウィーク(授業参観)
	12日(土)	学校見学会
12	2日(金)・5日(月)・6日(火)	期末試験
	7日(水)	体育大会
	20日(火)	学内・学外研修
	21日(水)	合唱コンクール、終業式
	22日(木)・23日(金)・26日(月)	保護者懇談会

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

10	1日(土)	学園創立90周年記念イベント
	4日(火)	芋ほり体験
	5日(水)	学園創立記念日
	6日(木)	芋ほり体験予備日
	12日(水)	運動会(年中・年長)
	14日(金)	運動会予備日
	17日(月)	茶道教室(ほし)
	20日(木)・27日(木)	星稜アトリエリスタ
	21日(金)	内科検診
	25日(火)～27日(木)	リモート参観(年少)
11	8日(火)・10日(木)・11日(金)	リモート参観(年中)
	9日(水)・16日(水)・30日(水)	星稜アトリエリスタ
	18日(金)・25日(金)	リモート参観(年長)
	21日(月)	茶道教室(つき)
12	6日(火)～8日(木)	表現遊びの会(年少)
	9日(金)・12日(月)・13日(火)	表現遊びの会(年中)
	14日(水)・15日(木)	表現遊びの会(年長)
	19日(月)	茶道教室(ほし)
	20日(火)・21日(水)	星稜アトリエリスタ
	23日(金)	終業式

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

10	1日(土)	学園創立90周年記念イベント
	5日(水)	学園創立記念日、園見学会
	6日(木)	いもほり(年中)
	7日(金)	いもほり(年長)
	12日(水)	小児科健診
	18日(火)	誕生会(年長)
	19日(水)	誕生会(年中)
	20日(木)	誕生会(年少)
	21日(金)	避難訓練
	26日(水)	小児科健診
11	1日(火)	運動会
	4日(金)	太鼓(年中)
	7日(月)・9日(水)～11日(金)	紙漉き体験(年長)
	8日(火)	歯科検診
	14日(月)	茶道(年長)
	15日(火)	誕生会(年長)
	16日(水)	誕生会(年中)
	17日(木)	誕生会(年少)
	22日(火)	避難訓練
	24日(木)	茶道(年長)
12	25日(金)	リトミック(年少)
	9日(金)	太鼓(年中)
	13日(火)	誕生会(年長)
	14日(水)	誕生会(年中)
	15日(木)	誕生会(年少)
	16日(金)	リトミック(年少)
	21日(水)	避難訓練
	23日(金)	サンタの日、終業式

星稜サ・エ・ラに関する
アンケートへのご協力をお願い

締切 11/30

いつも『星稜サ・エ・ラ』を愛読いただき、誠にありがとうございます。毎号の内容に関する皆様からの意見を「WEBアンケートフォーム」を通じて頂戴し、本誌の内容改善に努めてまいります。ご協力いただいた方の中から、抽選で20名様にQUOカード(500円分)をプレゼント。下記QRコードから、アンケートへの回答をお願いいたします。



抽選で20名様に
QUOカードをプレゼント!

Since 1932

星稜

誠実にして社会に役立つ人間の育成

学校法人 稲置学園

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部

石川県金沢市御所町10番地1

TEL 076-253-3924 (代表)

(大 学) <http://www.seiryu-u.ac.jp/u/>
(短大) <http://www.seiryu-u.ac.jp/c/>

星稜高等学校・星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206番地

TEL 076-252-2237 (代表)

<http://www.seiryu-hs.jp>

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

石川県金沢市御所町南27番地

TEL 076-252-5057 (代表)

<http://kinder.seiryu.jp/seiryu/>

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

石川県金沢市泉野町6丁目17番30号

TEL 076-244-5636 (代表)

<http://kinder.seiryu.jp/fuzumino/>